

# 学校評価に見られる課題

～令和5年度学校評価～

学校評議員と学校評価員の皆様による今年度の学校評価がまとまりました。評価結果からは「自己有用感」や「自己指導能力」の育成など、いじめ・不登校の未然防止に向けた取組をより一層努力していく必要性を感じました。前述の保護者アンケートの結果も含め、今後、課題の改善を図っていきます。

## 【学校教育目標】「自己指導能力を身に付け、自ら進んで取り組む生徒の育成」

A:できた(十分取り組んでいる)

B:まあまあできた(取り組んでいる)

C:あまりできない(あまり取り組めていない)

D:できていない(取り組めていない)

視点	評価内容	評価
学力の向上	自ら課題を持ち、自己の学習活動の振り返りを次につなげる「主体的な学び」に向かう授業の推進	B
	「問題解決能力」の育成を目指した「深い学び」に向かう生徒主体の授業の推進	B
	「主体的に学ぶ力」の育成に向けた定期的な学習集会による全校の合意形成	B
	生徒会が主体となった「学びの構え」の定着や学習規律の作成	B
いじめ不登校の未然防止	いじめ・不登校の未然防止に重点を置いた取組の充実と早期発見・早期対応の取組の継続	B
	あらゆる教育活動における「自己有用感に裏付けられた自尊感情」の育成	C
	規律ある学校生活を送ることができる自己指導能力を身に付けた生徒の育成	C
	認め合う意欲や優しさ、思いやりの心の育成・いじめの未然防止・道徳的実践力の向上	B
健やかな体の育成	基本的な生活習慣の定着と正しい食生活の見直し	B
	新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染防止に向けた対応の徹底と充実	A
信頼される学校づくり	危機管理意識の高い教職員集団の育成	B
	生徒の学びや成長の連続性を意識した学校間の連携の推進（小中連携・中高連携）	B
	地域への積極的な情報公開や発信及びPTAとの連携	B
多忙化改善	教職員の意識改革と業務の時間的・人的な平準化による時間外勤務時間の減少	B

## 次年度の課題（次の3点を次年度、改善すべき重点とします。）

### 「学力の向上」

課題である「理由や根拠を添えて自分の考えを表現する力」の育成について、授業を中心に引き続き取り組んでいきます。また、これまで同様、生徒会による授業像の設定とともに、語彙（ごい）力を高める読書指導を交えるなど、表現できる力を高める工夫を図ります。

### 「キャリア教育の推進」

将来の自分について、学年段階に応じてイメージや展望を持つことができるよう、高等学校をはじめ、外部の方を招いての進路学習を工夫していきます。また、英語検定や漢字検定など、将来に通じる資格の取得を推進します。

### 「望ましい集団・人間関係づくり」

日常生活では本校が掲げる「自己指導能力（その時その場でどのように行動すべきかを考える力）」の意識が薄れ、易き（やすき）に流れる傾向があります。いじめや不登校の未然防止のためにも、行事や道徳教育とも関連付けながら、人としての在り方を考えさせたり、お互いの良さや頑張りを認め合う場面を設定するなどの工夫を図ったりします。